

川と川 環境共生都市 熊谷

熊谷市総合振興計画
後期基本計画

概要版

政策 5

自然の豊かさがあふれるまち

施策20

豊かな自然を保全する

市民の環境意識の向上を図るとともに、潤いと安らぎを与えてくれる貴重な緑と水辺環境を保全します。

単位施策33

環境意識の向上を図る

- 環境教育講座
- 自然・水辺観察会
- こどもエコクラブ活動の支援

単位施策34

緑と水辺環境を保全する

- ムサシトミヨの保護
- ホタルの保護
- 環境保全活動の支援

施策21

生活環境を保全する

公害の防止や環境負荷の低減等を図ります。また、生活排水の適切な処理の促進に努めます。

単位施策35

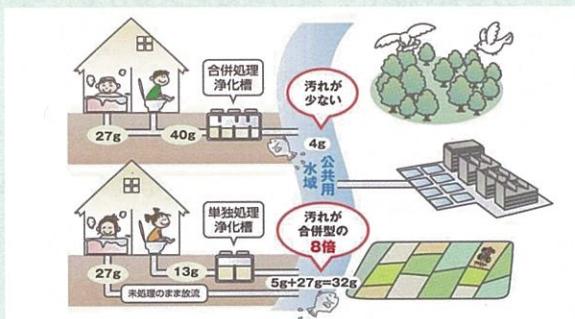
公害のないまちをつくる

- 公害防止協定締結の推進
- 公害苦情処理の迅速な対応
- 放射性物質の測定

単位施策36

生活排水を適切に処理する

- 合併処理浄化槽の整備
- 合併処理浄化槽の維持管理の促進



出典：環境省発行小冊子「浄化槽による地域の水環境改善の取り組み」

施策22

ごみの発生を抑制し、再利用を促進する

一人ひとりが、3Rに取り組み、ごみの減量と資源の有効活用を推進し、循環型社会の形成を目指します。

単位施策37

3R（リユース、リコーズ、リサイクル）を推進する

- 生ゴミ処理機（処理容器）の普及
- リサイクルフェアの開催
- リサイクル活動の推進



施策23

地球温暖化対策を推進する

市有施設のCO₂削減、新エネルギーの導入を図り、地球温暖化対策の重要性を発信します。また、再生可能エネルギーの普及を促進します。

単位施策38

省エネルギー対策を推進する

- 地球温暖化対策地域推進計画の推進
- 地球温暖化対策実行計画の推進
- クールシェア推進事業

単位施策39

新エネルギー施策を推進する

- 太陽光発電システム等の普及促進
- 次世代自動車(電気自動車・天然ガス自動車等)の導入促進



このポスターは、平成24年度熊谷市小学生環境ポスター作品展（主催：熊谷市環境衛生協議会）で、最優秀賞を受賞した作品です。

川と川 環境共生都市 熊谷

熊谷市総合振興計画
後期基本計画





基本方針

市民一人ひとりが、3Rに取り組み、ごみの減量と資源の有効活用を推進し、循環型社会の形成を目指します。

施策の体系

ごみの発生を抑制し、再利用を促進する

37 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進する

単位施策

37 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進する

再利用と再資源化を推進し、ごみの減量化を図ることにより、資源の消費が抑制され、環境への負荷が少ない環境型社会の形成を目指します。

主な事業

- ・生ごみ処理機（処理容器）の普及
- ・マイバッグ利用の推進
- ・リサイクルフェアの開催
- ・リサイクル活動の推進



成 果 指 標	前期基本計画策定時の現状値	前期めざそう値	現 状 値	後期めざそう値 (前期基本計画でのめざそう値10年後)
市民一人一日あたりのごみ排出量	1,194 g	1,000 g	1,067 g	900 g (900 g)
市民一人あたりの資源物回収率 ^{注4}	—	—	23.2%	27%
マイバッグを利用している市民の割合	29%	40%	57%	65% (50%) ↗
リサイクルフェアの来場者数	1,200 人	1,800 人	2,074 人 ^{注5}	2,500 人 (2,000 人) ↗

注4 市民一人あたりの資源物回収率：焼却灰をセメントの原料とする再資源化を含めて計上しています。

注5 2,074人：平成23年度は、東日本大震災で本市へ避難された方へリサイクル品を提供したため、平成22年度の数値としました。